

大和コンファレンス 東京 2022 (バーチャル開催)

2022.2





1. 2021年度 第3四半期業績

(1) 決算ハイライト

売上高・営業利益、過去最高の第3四半期決算

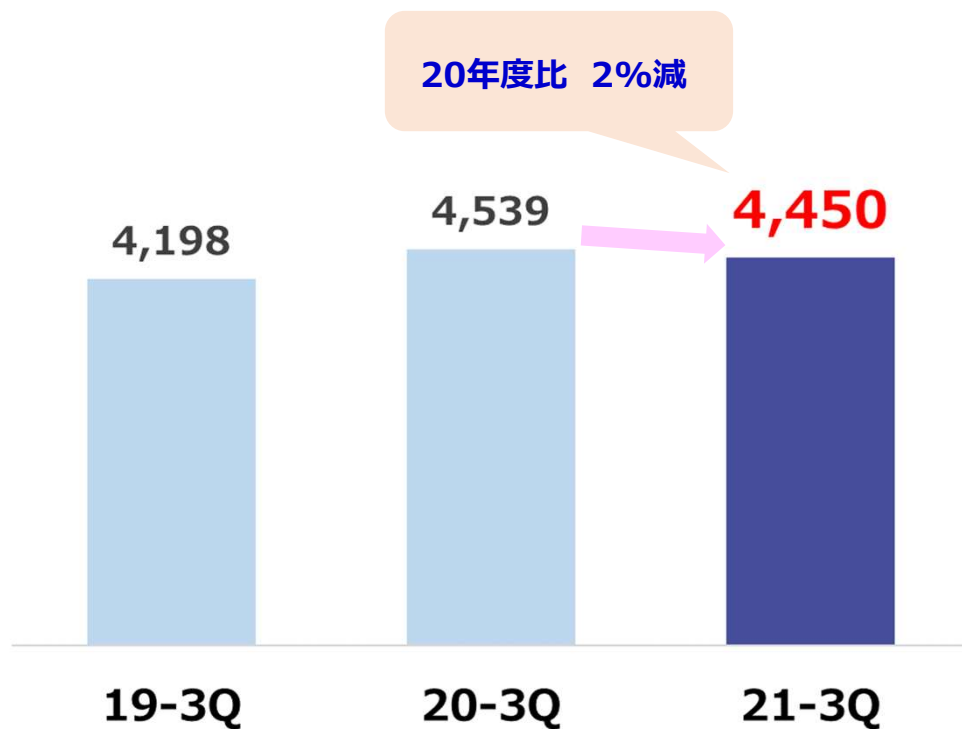
営業利益は前期比+58億円と好調（販管費率も低下）

自己株式取得50億円追加実施を公表、合計80億円に

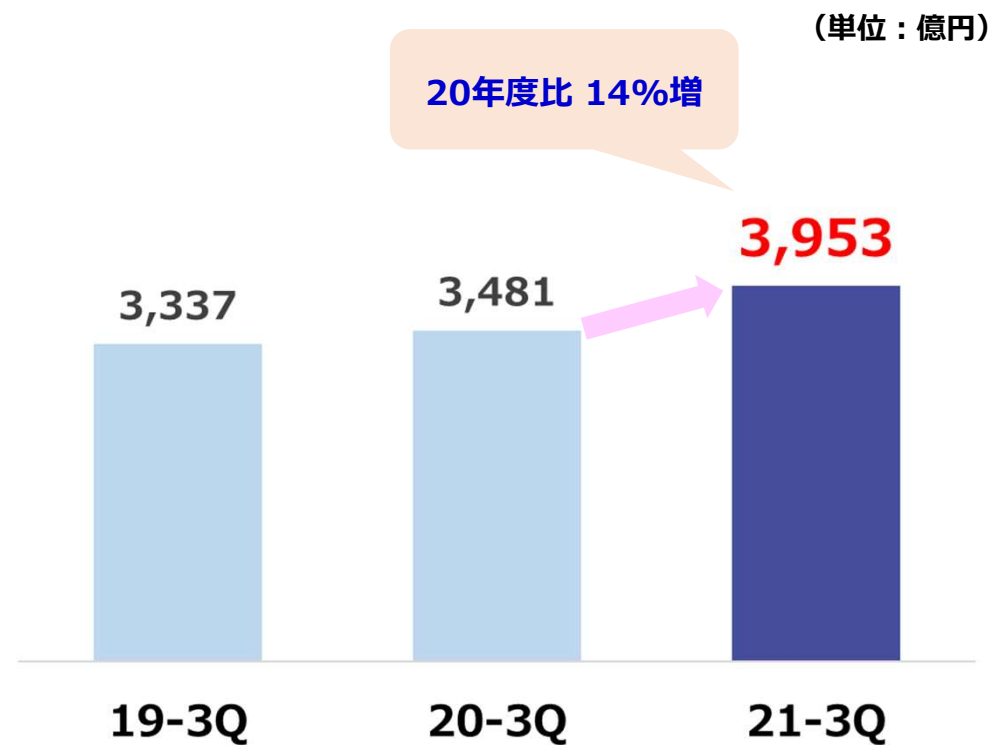
／ (2) 業績ハイライト (受注高・売上高)

受注高は微減となるも、売上高は過去最高、特に都市インフラ・システムソリューション好調

■ 受注高



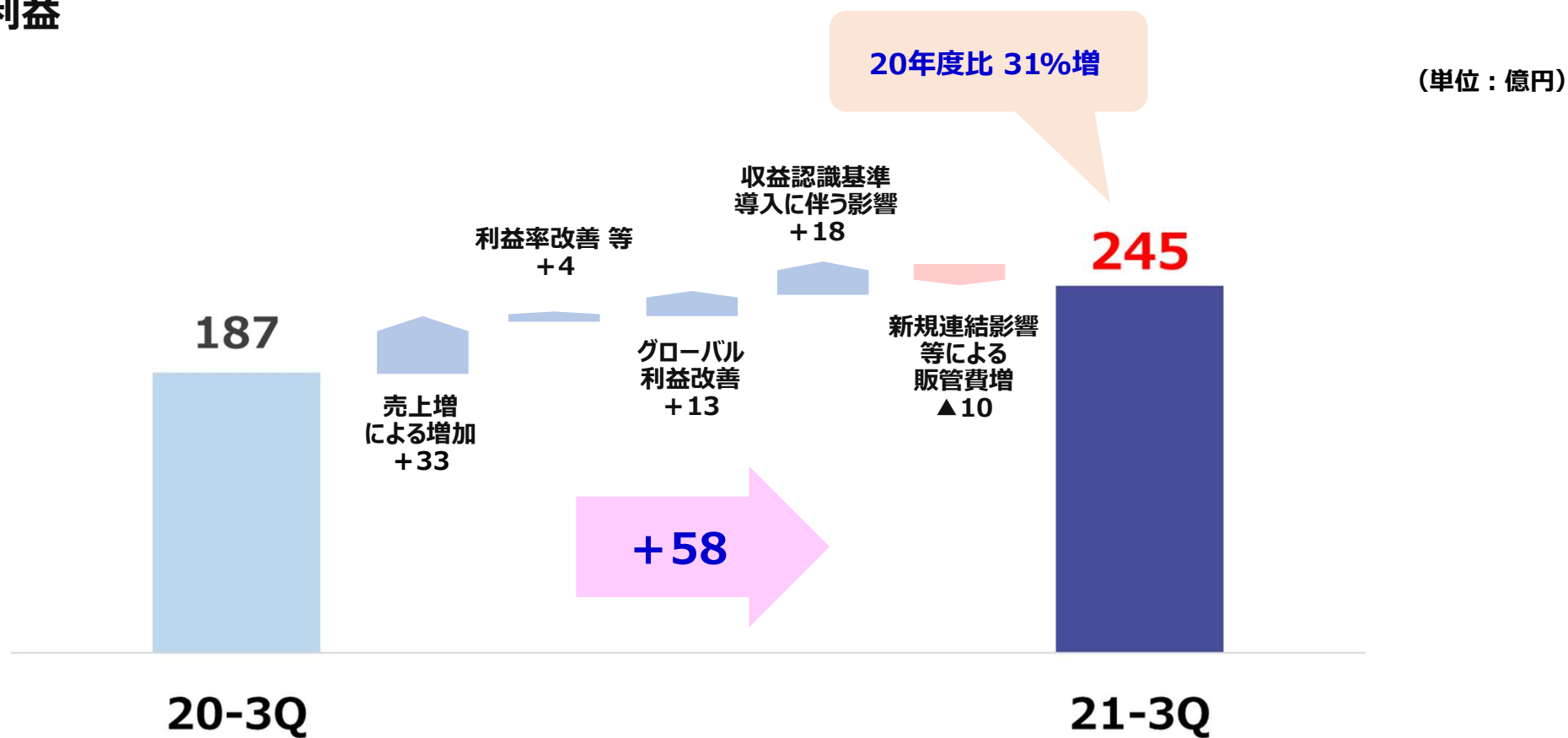
■ 売上高



／（３）業績ハイライト（営業利益）

売上高の増加に伴う利益増に加え、グローバルの収支も着実に改善し、大幅増益

■ 営業利益





2. 2021年度業績予想

／ (1) 計画サマリー

第3四半期業績は好調に推移し、通期での計画達成は確実な状況。

(単位：億円)	2020年度	2021年度	
	実績 A	計画 B	前期差 B-A
受注高	6,310	5,500	▲810
売上高	5,733	5,600	▲133
営業利益	(6.4%) 366	(6.6%) 370	(+0.2P) +4



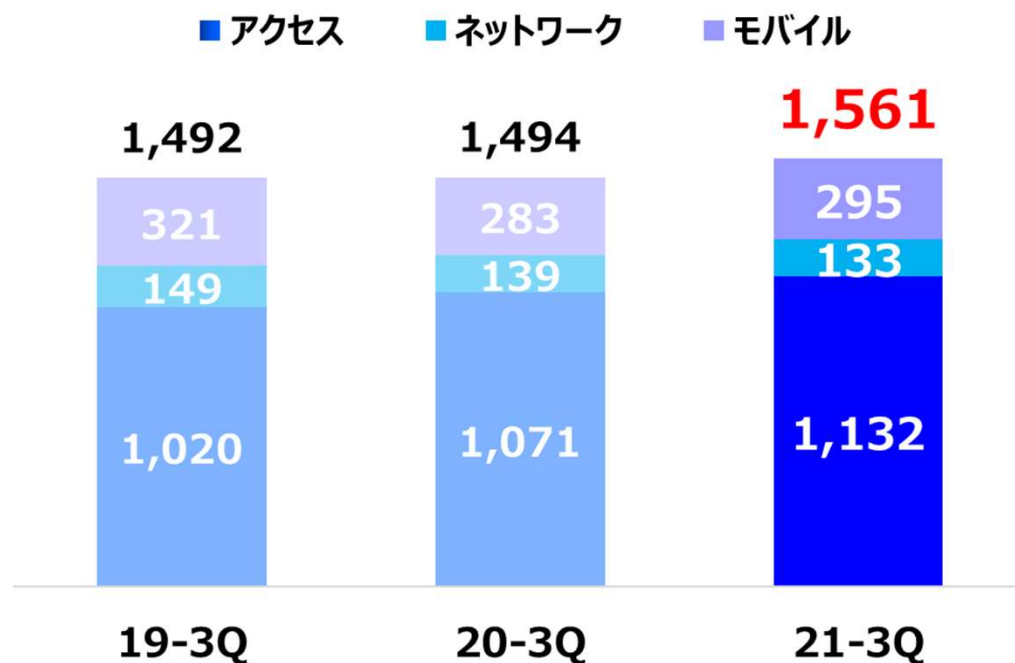
3. セグメント別概況

／ (1) NTTグループ

前年受注した大型案件の工事が順調に進捗したことにより売上増

■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ トピックス (NTT東西／NTTドコモ)

高度無線環境整備推進事業

2020年度に受注した当該案件については、今年度、施工が順調に進捗し、アクセス分野の売上増に貢献

ドコモの5G基地局計画

新周波数帯による5Gを積極的に展開
年度末2万局達成に向け工事進捗



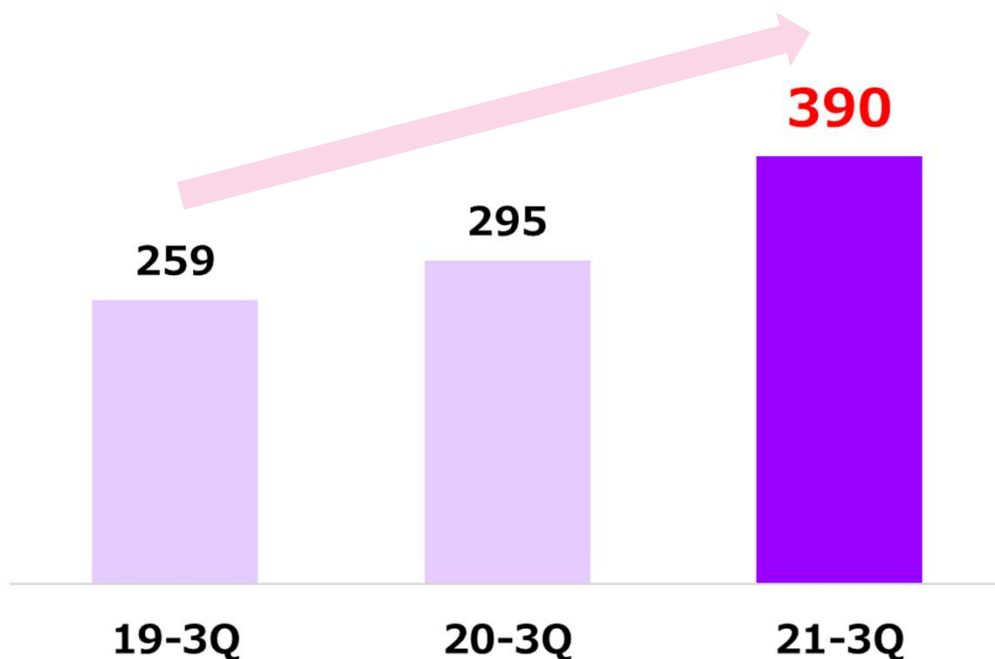
(出所：各通信キャリア発表資料より当社作成)

／ (2) NCC

モバイル各社の積極的な設備投資に伴い、受注・売上共に前期比大幅増

■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ トピックス

モバイル各社の基地局建設状況

ソフトバンク 概ね順調。5Gの人口カバー率は85%程度まで進捗

KDDI 21年度末までにJR・私鉄を含む26路線の5Gエリア化を目指す

楽天モバイル 半導体不足の影響を受けるも、4G人口カバー率96%に

(出所：各通信キャリア発表資料等より)

各社ともに基地局建設方針に変更なく、目標達成に向けて着実な施工を推進中

工事量急増への対応

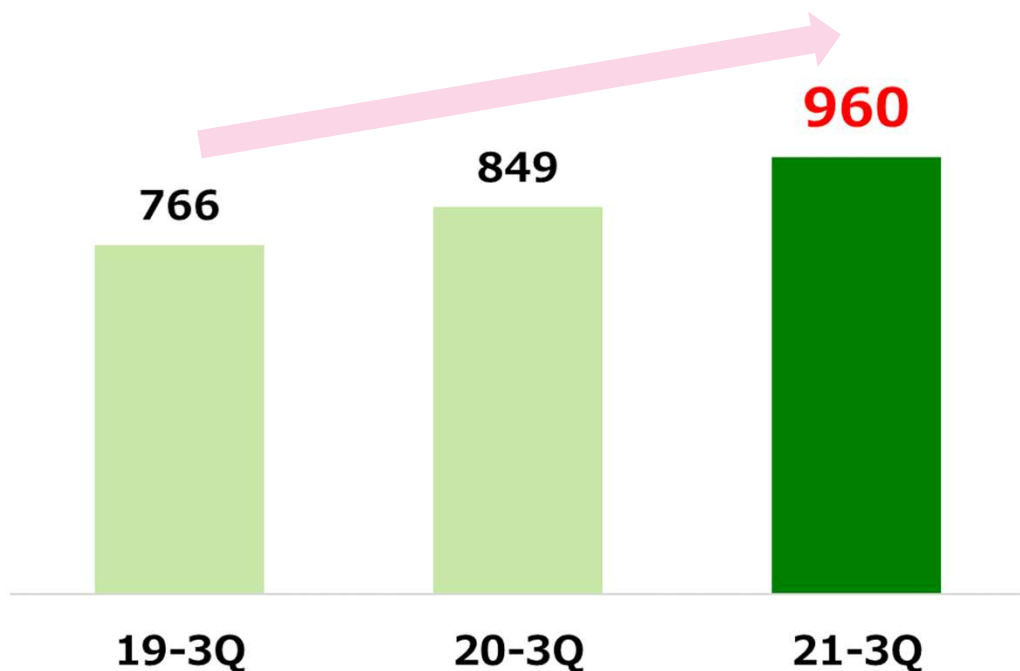
各社の要望にお応えするため、グループ内のリソースシフト・マルチスキル化等により施工能力を向上

／ (3) 都市インフラ

成長セグメントとして、新領域を含めて積極的に事業展開、工事進捗も順調

■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ トピックス

再生可能エネルギー P13

洋上風力発電事業への参入に向け、昭和電線HDと業務提携を開始

木質バイオマス自社発電 P14

木質バイオマスによる自社発電設備を建設中
投資資金は「グリーンボンド」にて調達予定

ローカル5G実証実験

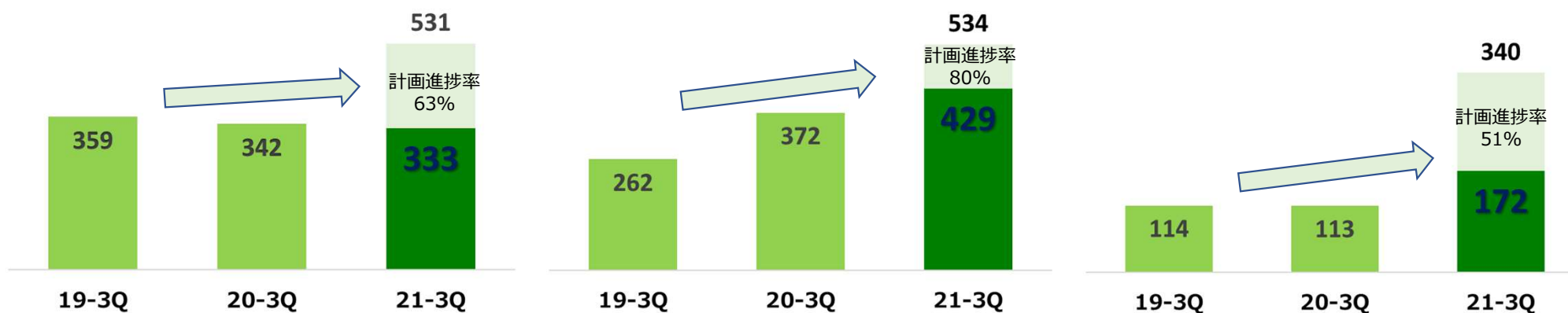
高速道路トンネル内メンテナンス作業の効率・安全性向上に関する実証実験を実施予定

／ (3) 都市インフラ

各事業領域において新分野を開拓し、業容の拡大を目指す

■ 売上高の推移

(単位：億円)



・公共等インフラ設備

鉄道、トンネル等の公共インフラ関連の更改需要の高まりに伴い、今後、リソースを積極的に投入

・電気/環境設備

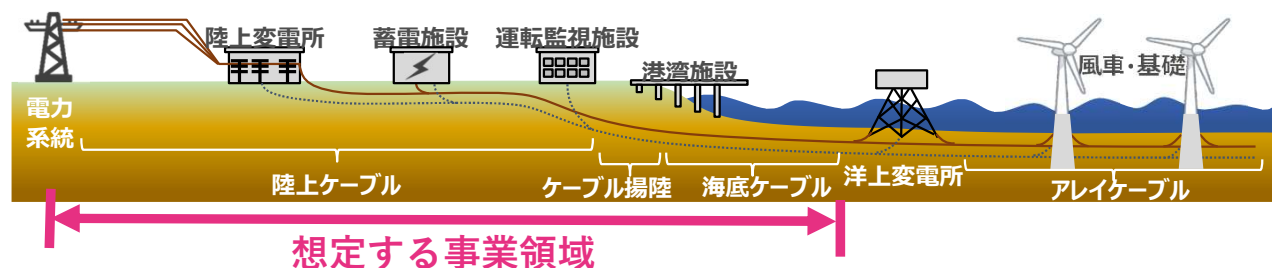
需要が継続するデータセンターに加え、再生エネルギー分野（洋上風力・木質バイオマス等）を開拓

・土木設備

無電柱化、トンネル等推進工事、老朽インフラリニューアル等の需要に積極的に対応

／（３）都市インフラ（洋上風力ビジネスへの参画）

洋上風力発電については、電力自営線、ケーブル揚陸等の領域にて事業参画を予定
再生エネルギー分野での事業拡大に向けて昭和電線ホールディングスと業務提携



■ ニュースリリース（業務提携）



News Release



2021年9月21日

株式会社協和エクシオ
昭和電線ホールディングス株式会社

洋上風力発電に関する電力工事事業の業務提携について

株式会社協和エクシオ（代表取締役社長 松橋哲也、以下「協和エクシオ」）と昭和電線ホールディングス株式会社（代表取締役社長 長谷川隆代、以下「昭和電線HD」）は、2021年9月より、洋上風力発電に関する電力工事事業について業務提携（以下「本業務提携」）を開始いたしましたのでお知らせします。

■ 市場規模予測

2030年までに累計約4兆円の市場規模へ
(矢野経済研究所)

年度	2020	2030	2040	2050
年間導入量	～1GW	2～4GW	4～6GW	
年間サイト数	3～10	6～40	13～60	
自営線工事費 概算想定		300億～500億/件		

出所：The Crown Estate「Guide to an offshore wind farm」より試算

／（３）都市インフラ（バイオマス発電）

木質バイオマス発電による自社売電事業の開始に向け、発電所（２箇所）を建設中
投資資金は「グリーンボンド（環境債）」により１００億円調達

【事業の目的】

■エクシオグループとして

- ・地域の資源活用による循環型社会の形成
⇒SDGs達成に向けた貢献
- ・売電による新たな収益の確保

■建設地の自治体に対して

- ・雇用の創出、地域活性化
- ・再エネ推進都市として先行事例創出
- ・地域防災拠点としての機能提供



△栃木県バイオマス発電所（イメージ）
発電規模：7,000kw（売電6,000kw）
燃料：国産自然木由来木質バイオマス
売電開始時期：2023年中



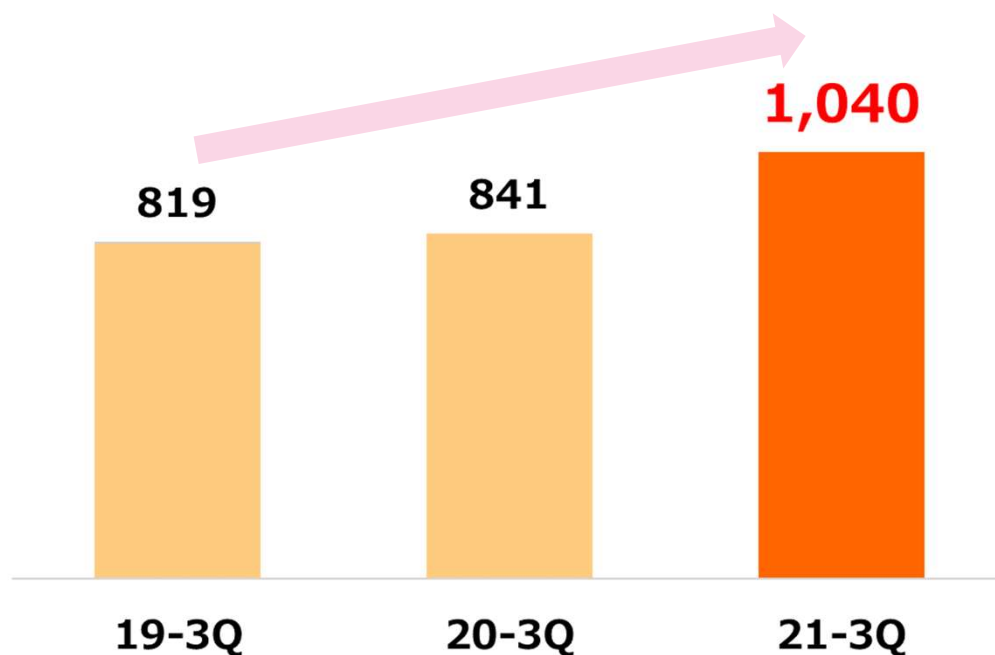
◇福島県バイオマスガス化発電所（イメージ）
発電規模：2,000kw（売電1,800kw）
燃料：木質チップの乾留で発生する可燃性ガス
売電開始時期：2024年中

／（４）システムソリューション

高付加価値ソリューションを追求し、売上、利益ともに着実に成長、グローバルも伸長

■ 売上高の推移

（単位：億円）



■ トピックス

新たな働き方への対応

新たな働き方に対応したコミュニケーション基盤の提供等、クラウドを含めた新たなサービスを提供

保守運用ビジネスの拡充 P17

グループ各社で個別に提供していたサービスを統合し、セキュリティを含めたリカーリングビジネスを拡大

グローバル事業の収益改善

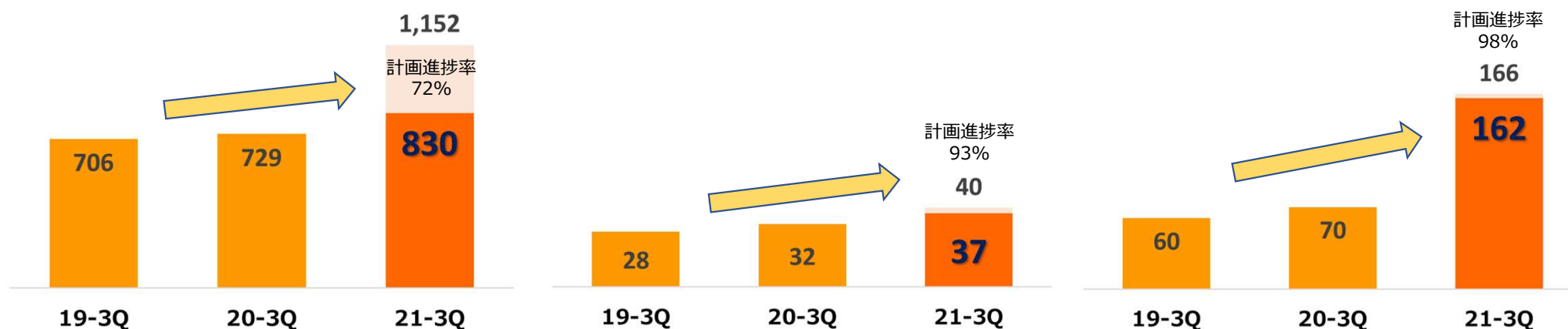
APACにおける事業基盤を拡充し、収益性も着実に改善
海外発新規ビジネスの日本国内での展開を開始

／（４）システムソリューション

グループ各社のリソースを活かし、新たなソリューションを創出

■ 売上高の推移

（単位：億円）



・システム開発/サービス提供

上流コンサルからのワンストップでのサービス提供と新ソリューションの創出により新たな収益を確保

・保守運用

新カスタマーセンタの活用等により、グループ内リソースを集結し、リカーリングビジネスの拡大を追求

・グローバル

APACの経済成長を捉える新たなビジネス機会の創出により、大胆な事業拡大と収益基盤の確立を狙う

／（４）システムソリューション（保守運用ビジネス）

リカーリング収入確保に向けて、保守運用ビジネスを拡大（2025年度に100億規模の事業へ）

グループリソースを集結し
運営体制を確立

新設カスタマーセンタによる受付体制集約（24時間365日）

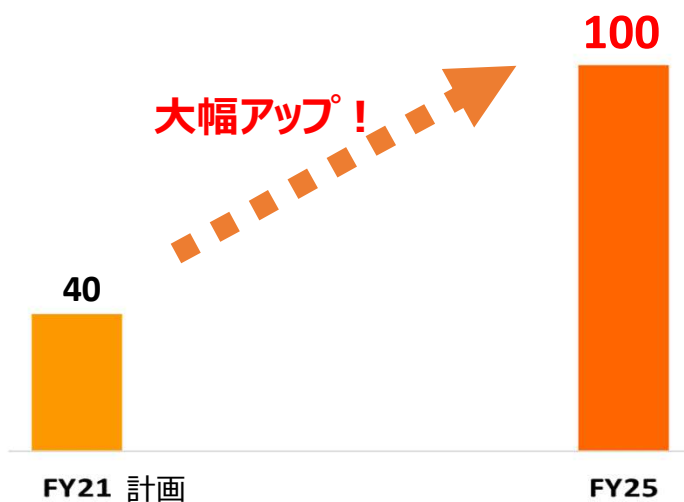
グループ各社と連携し保守拠点拡大（M&Aも含む）

ITシステム全面更改/共有ナレッジ導入

セキュリティを含めた保守運用メニューの拡充

■ 成長イメージ（売上高）

（単位：億円）



上図：新設したカスタマーサービスセンター



4. グループ戦略

／（１）グループ再編成

グループ経営を強化し、シナジー最大化できる再編成を実施

＜エンジニアリング系子会社＞
エリアごとに最適な施工体制を実現

＜共通系子会社＞
DX・効率化を加速しコスト低減

＜ソリューション系子会社＞
リソースを結集し新たなサービス創出

2021/8
北海道・東北エリアにて統合実施
その他の地域は検討完了次第逐次実施

2021/12
共通系子会社業務再編実施
委託範囲拡大を検討

＜検討実施中＞



2021/7

2021/10

2022/1

2022/4

2022/7

★2021/8
北海道・東北子会社の再編

☆その他地域検討中

★2021/12
共通系OS会社機能整理・委託業務拡大

☆2022/4(以降)
システムソリューション再編成

／ (2) 国内M&A実績と今後の狙い

中期経営計画達成に向けて、M&Aを適宜実施

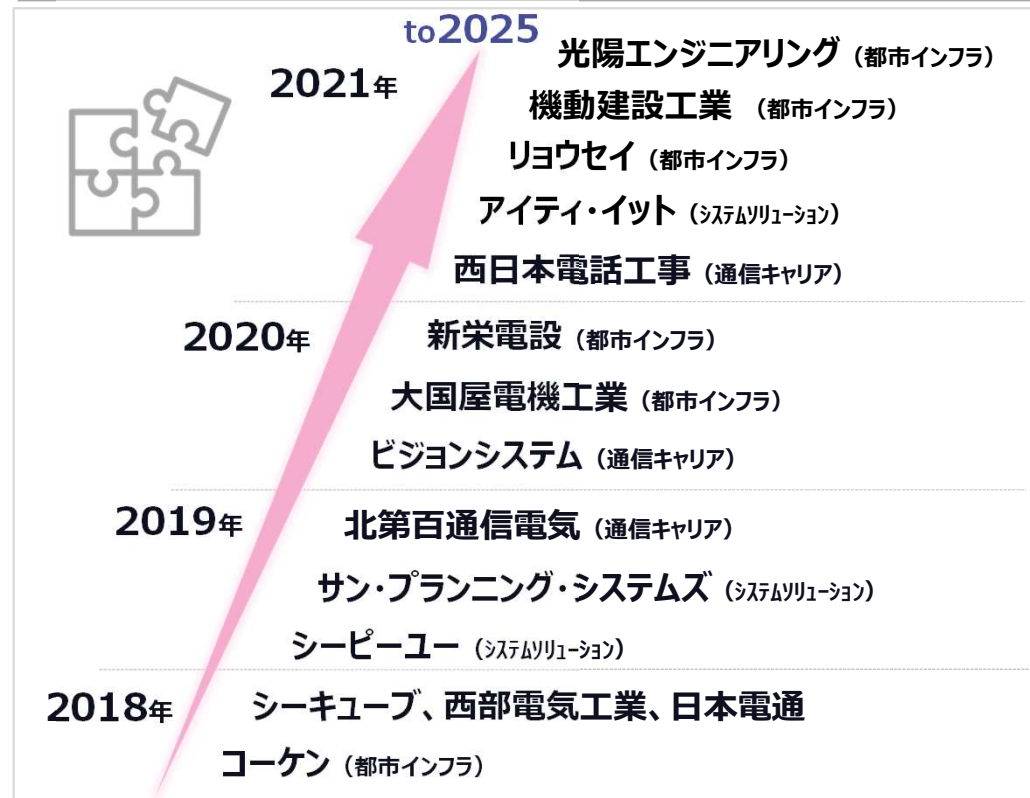
■ 2021年度実施

- ・光陽エンジニアリング（都市インフラ事業）
⇒空調・給排水等の管工事分野の強化
- ・機動建設工業（都市インフラ事業）
⇒推進施工技術の向上及び施工領域の拡大
- ・リョウセイ（都市インフラ事業）
⇒電力線施工事業への参画と技術者育成の推進
- ・アイティ・イット（システムソリューション）
⇒保守運用事業基盤強化、リカーリングビジネス拡大

■ 今後の取組方針

- ・成長ドライバーとなるべきM&A先を探索
⇒技術者の確保、新事業/拡大領域における補完・強化
先駆的技術習得および上位/下位レイヤ体制強化
- ・PMIの強化
⇒統合効果を最大化し、シナジーの早期実現

M&Aによる主なグループ化（2018年以降）



／ (3) ESG目標

ESG経営の実践としてKPIによるマネジメントを実施

	取組課題	2025年度KPI	関連するSDGs項目
Environment (環境)	■ 再生可能エネルギーへのシフト ■ 脱炭素、脱CO₂の取り組み ■ 資源循環型社会への貢献 ■ 環境に優しいグリーン製品活用	■ 再エネ由来電力購入（自社管理拠点） 100% ■ EVなど低公害車導入率（一般車両） 100% ■ CO₂排出量 20年度比10%減 ■ 産業廃棄物最終処分率 20年度比50%減 ■ グリーン製品利用率 65%	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 15 陸の豊かさも 守ろう
Social (社会)	■ 事業の安全・品質の確保 ■ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ■ 働き方改革の推進	■ 重大人身事故・重大設備事故ゼロを目指す ■ 女性管理職の人数 20年度末比1.5倍 ■ 女性社員の人数 20年度末比25%増 ■ 男性の育児休暇取得率 20%	3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 11 住み続けられる まちづくりを
Governance (ガバナンス)	■ 透明性の高いマネジメントの実現 ■ コンプライアンスの徹底 ■ リスクマネジメントの徹底	■ 重大な法令違反 ゼロを目指す ■ 重大な情報セキュリティ事故 ゼロを目指す ■ 重大な事業リスクを伴う 事案のリスク評価実施率 100%	10 人や国の不平等 をなくそう 12 つくる責任 つかう責任 16 平和と公正を すべての人に 17 パートナリシップで 目標を達成しよう



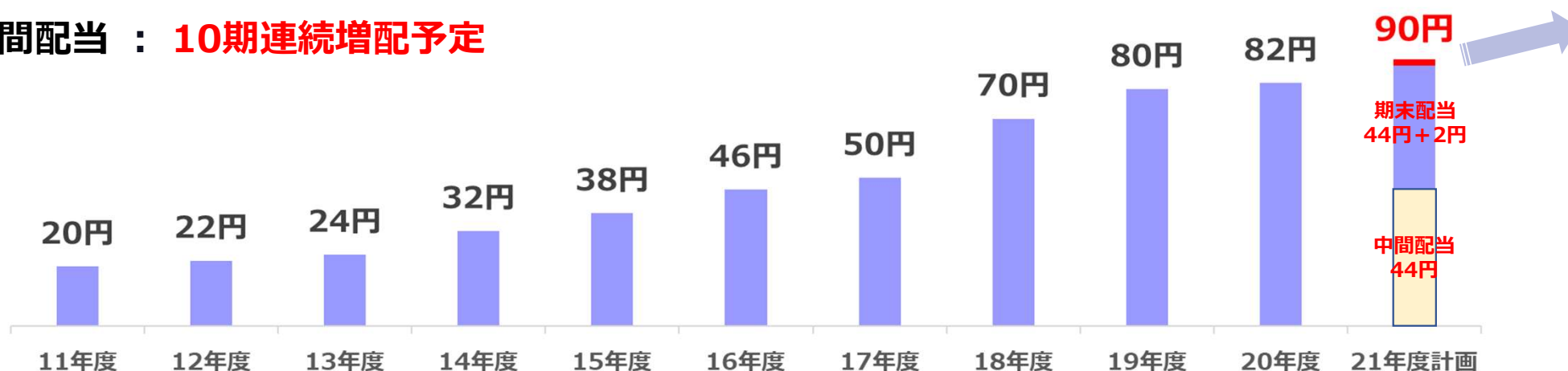
5. 株主還元

／（１）配当、自己株式

DOEを基準として安定的／継続的な株主還元を実施

今年度期末配当は、普通配当に加え社名変更に伴う**記念配当（２円）**を実施予定

■ 年間配当： **10期連続増配予定**



■ 自己株式取得： マーケット動向や業績・資金状況等に照らし、機動的に実施

年度当初実施の30億円に加え、50億円の追加取得を公表済

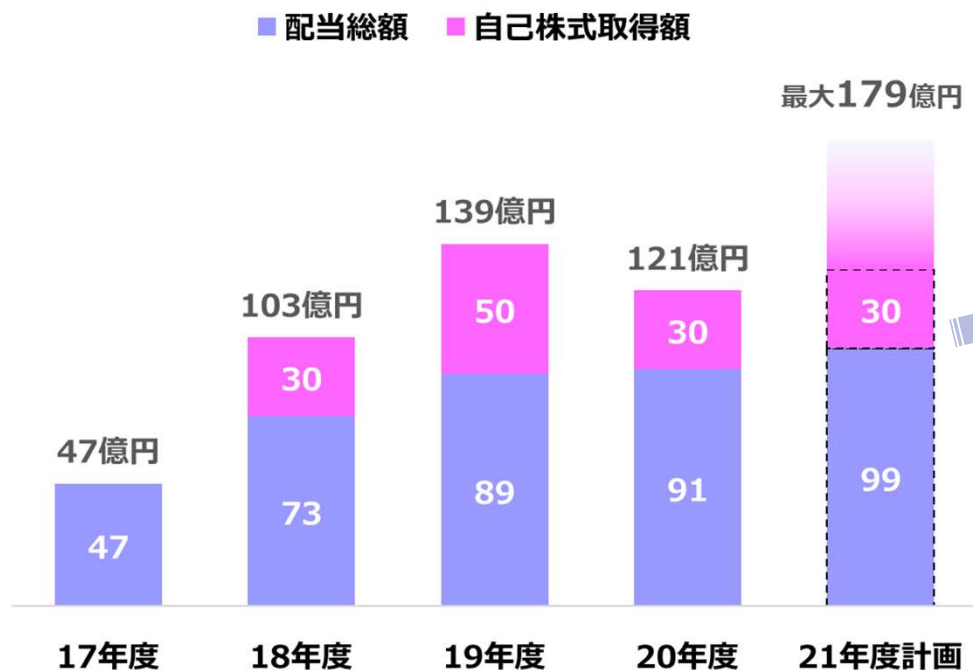
■ 自己株式消却： 事業動向を踏まえて適宜実施

今年度は100万株の消却を実施

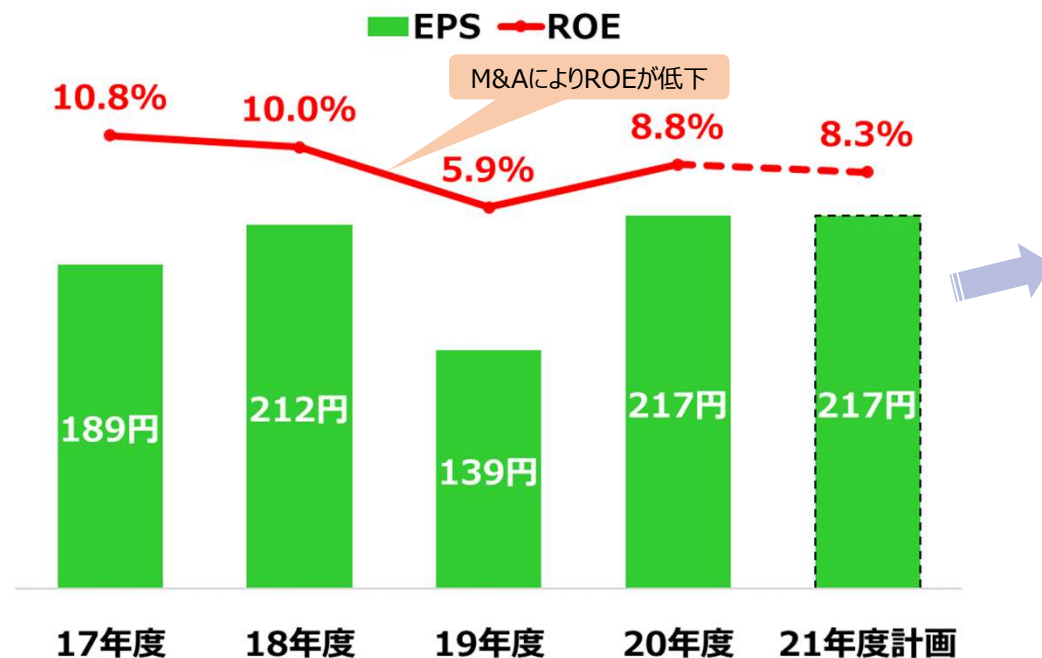
／ (2) 総還元額、ROE・EPS

継続的な増益と資本効率の向上により、ROE・EPSともに着実な上昇を目指す

■ 総還元額



■ ROE・EPS





6. トピックス

／（１）副業制度導入

働き方の多様化に対応し、2022年2月1日より「副業制度」を導入。
同時に社外の高い知見や豊富な経験を持った人財の採用を目的に「副業人財の受け入れ」を開始。

社員の副業制度

社員が深い専門性や新たな視点を獲得、成長することでキャリア形成につなげ、更なる活躍を目指す

副業人財の受け入れ

異業種人財との交流、高い知見によるイノベーション創出と新たなビジネスの発掘を通じ事業改革を推進



副業
多様な経験を
繋ぐ仕事。

社外HP：副業人財募集ページ

／（２）コロナウイルスワクチンの職域接種

2021年7月初旬～8月末にかけて全国で職域接種を実施
グループ従業員/家族、事業所従事者を含め、約9,000名に接種
2022年3月中旬より3回目の職域接種実施予定



本社ビルでのワクチン接種模様

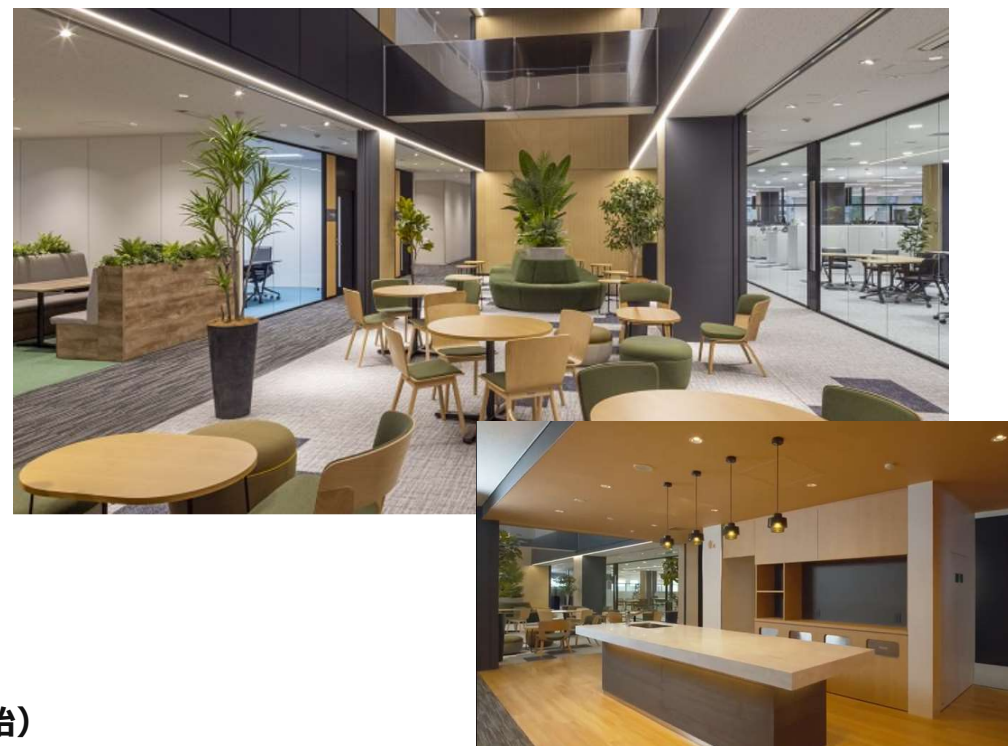


／（３）スマートオフィスをコンセプトにした支店オフィスの新設

札幌市内に分散していた当社の3事業拠点、グループ会社5社を集約する新オフィスを新設
最新設備導入で業務効率化/協働オフィス化を推進

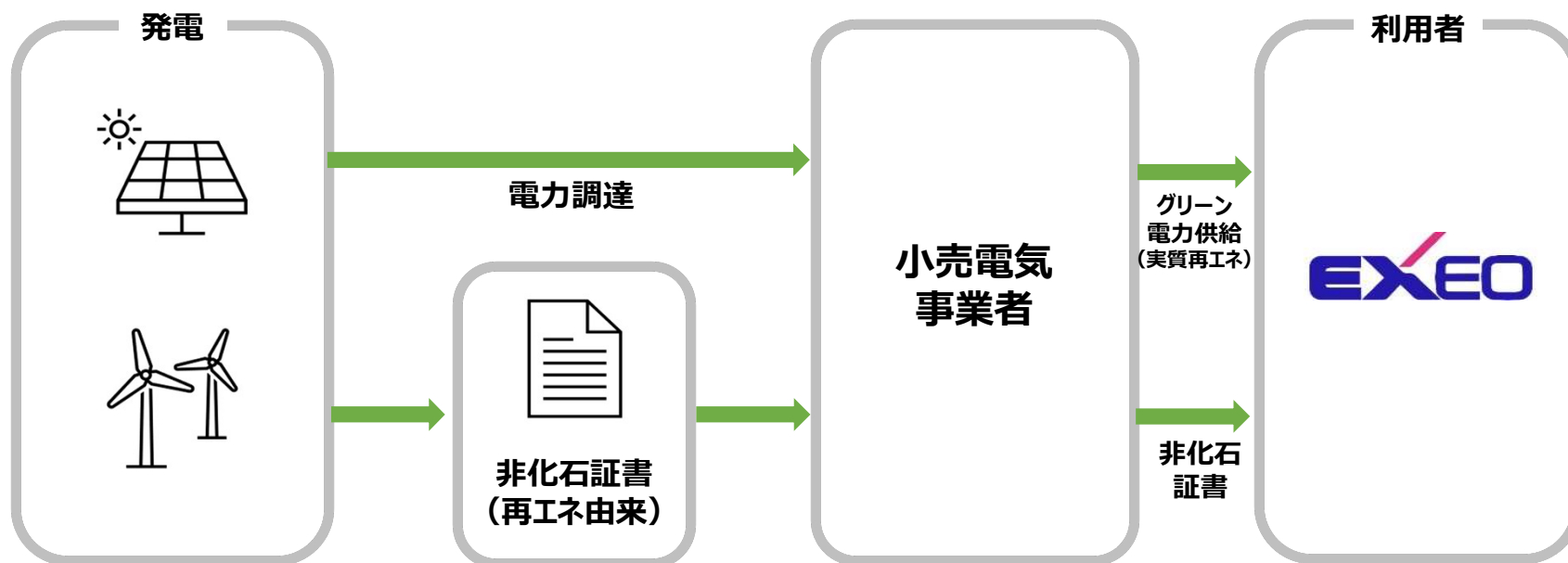


新設した北海道支店オフィス「エクシオ ナトラエ」ビル（2021年5月営業開始）



／（４）再生可能エネルギー由来電力を導入

国内38カ所の事業所に実質再生可能エネルギー由来の電力を導入
2025年度までにグループの自社管理拠点で使用するすべての電力を切換え予定



注記：再エネ指定の非化石証明書を組み合わせることで、環境価値の由来が分かる実質的な再生可能エネルギーとなります。



7. 2030ビジョン

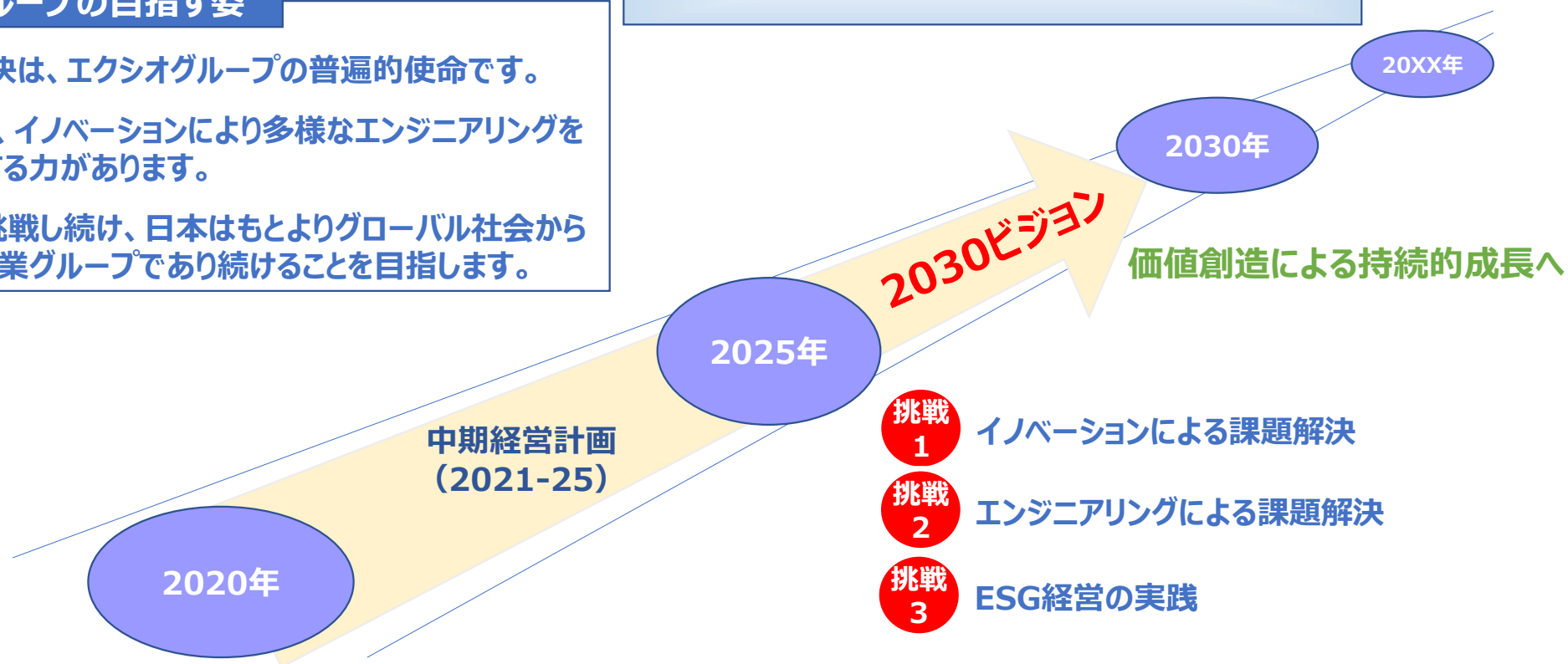
2030ビジョンについて

エクシオグループの目指す姿

- ・社会課題の解決は、エクシオグループの普遍的使命です。
- ・当グループには、イノベーションにより多様なエンジニアリングをつないで融合する力があります。
- ・わたしたちは、挑戦し続け、日本はもとよりグローバル社会から必要とされる企業グループであり続けることを目指します。

2030ビジョン

Engineering for Fusion
～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～



大きな変革の時代へ

世界中の社会・経済で大きな変革が起きている。

新型コロナにより世界中が未曾有の危機に陥る中で、ダイバーシティや人種問題など人権に対する意識は更に高まり、環境問題は人類共通の課題として目の前に広がっている。そのような中、技術革新はあらゆるビジネスを根本から変える力を持ち、衰退するビジネスがある一方で、新たなサービスが短期間かつグローバルレベルで拡大することも可能になってきた。SDGsが広く浸透するなど世界が直面する課題に対し、社会の意識が変化している。

◆ 社会の課題

環境破壊・資源の枯渇

- CO₂排出による地球温暖化、気候変動
- マイクロプラスチックによる生態系への影響
- 経済成長に伴う資源の枯渇

インフラ老朽化・自然の脅威

- 老朽化した社会インフラの更改・更新
- 多発する自然災害への備え
- 新型コロナによるニューノーマルへの対応

人口減少による過疎化・空洞化

- 少子高齢化、生産年齢人口減少の顕在化
- 地方の過疎化、高齢化の進展
- 市街地の空洞化による都市の衰退

◆ 産業・社会の変化

急速な技術革新

- 5Gから6Gへの情報通信技術の進展
- AI、ロボティクス技術による日常の変化
- DXによる新たな社会の兆し（Society5.0）

モノからコトへサービスの変化

- XaaSなど、所有から利用へサービスの変化
- デジタルによる付加価値の提供
- ビジネスモデルの変化による新たな事業創出

社会の意識の変化

- LGBTQなど人権に対する意識向上
- ダイバーシティ&インクルージョンの進展
- SDGs、ESGは必須の指標

2030年に向けたエクシオグループの果たす役割

2030年に目指す社会を実現するため、エンジニアリングの現場をソリューションでイノベーションサイクルを循環させ、新しいエンジニアリングフィールドを広げていく。

2030年に目指す社会

カーボンニュートラルな社会

- 資源・エネルギー循環の高度化
- 再生可能エネルギープラントの充実と排気ガスゼロ化

健康で生き生き暮らせるスマート社会

- 高度な通信による都市やビル、家庭のスマート化
- 高齢化社会に寄り添った医療・行政・社会システム

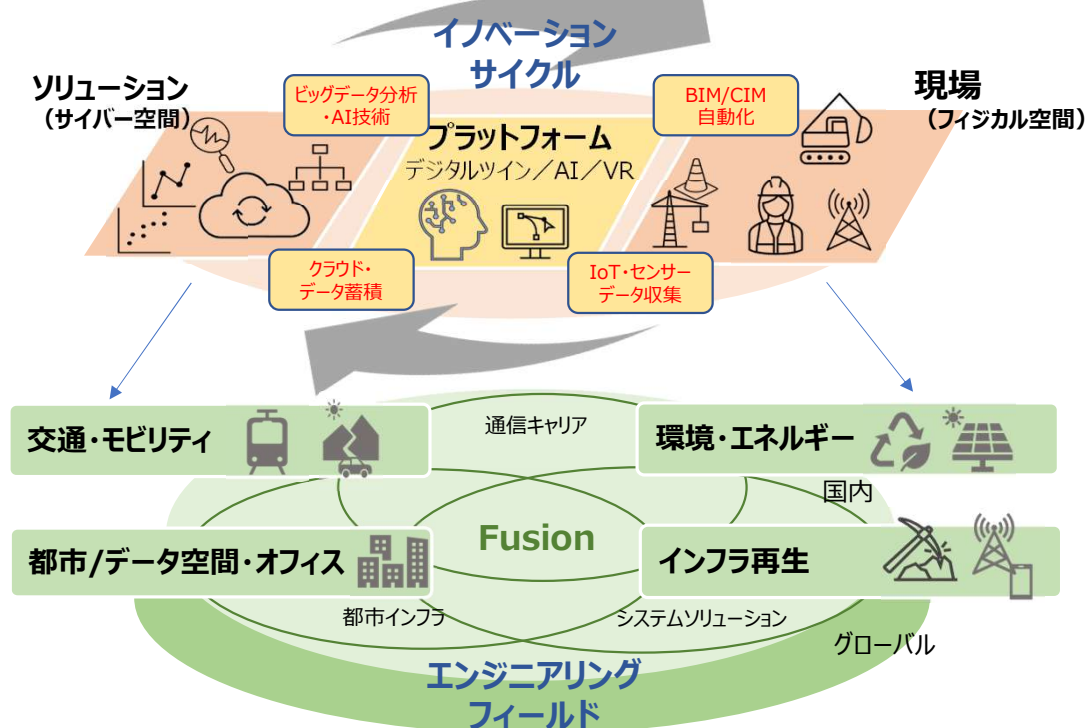
グローバルで多様性を享受する社会

- グローバル化と多様性を意識した働き方改革
- APACでの通信インフラ/ソリューションの整備

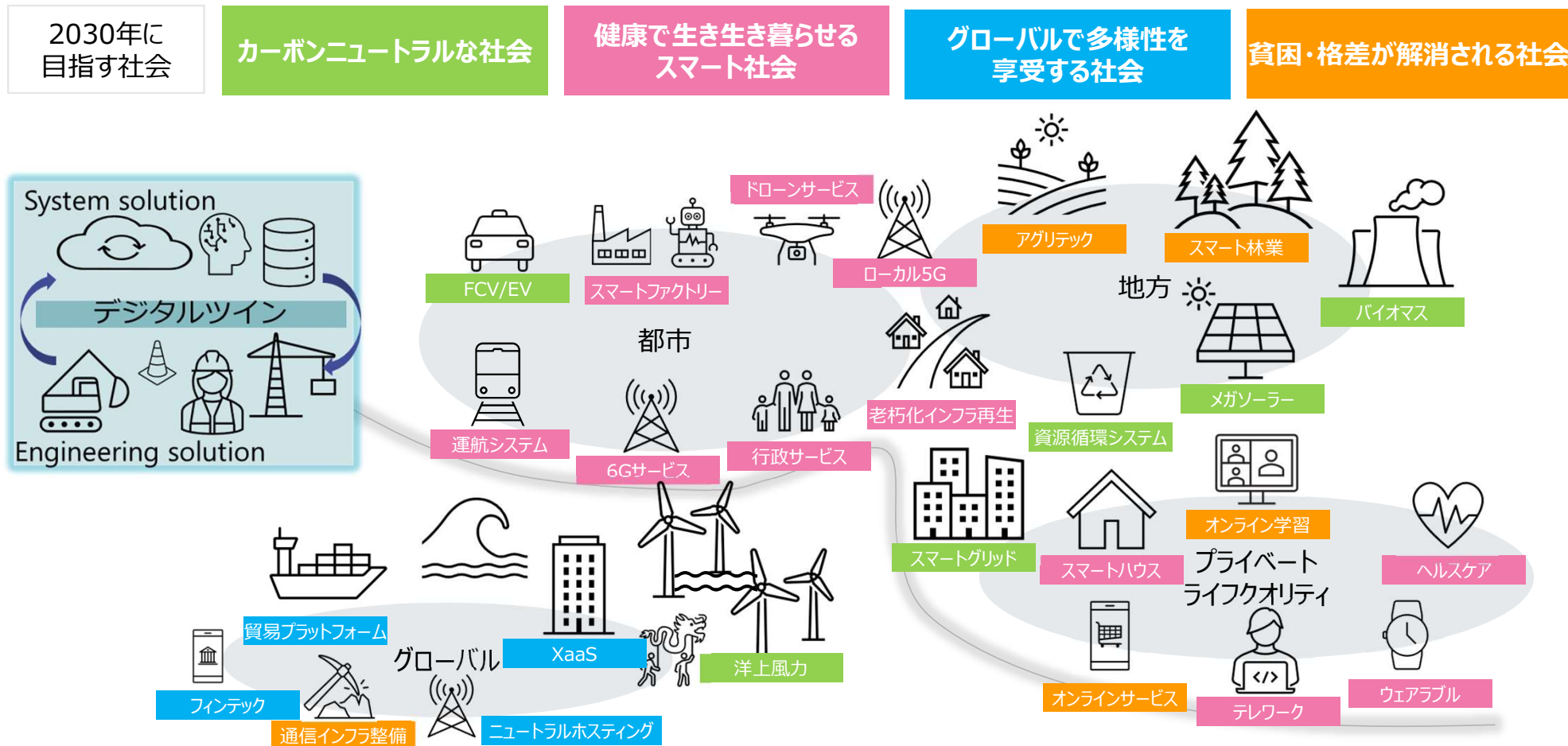
貧困・格差が解消される社会

- 教育を機会均等に受けられる文教ソリューション
- 産業格差解消に向けた産業のデジタル化

エクシオグループの果たす役割

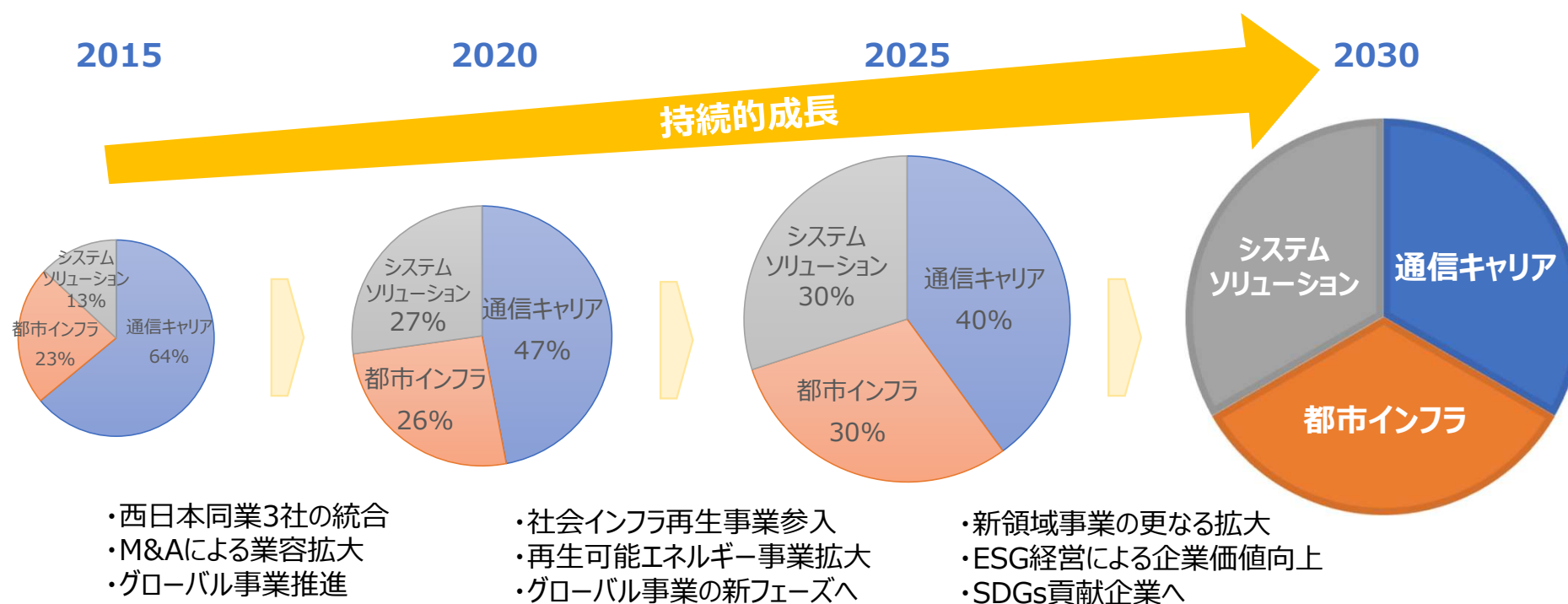


2030年に目指す貢献領域



2030年に目指すポートフォリオ

景気や社会情勢に左右されない強固な経営基盤を構築するため、都市インフラおよびシステムソリューション事業を更に拡大し、2030年度の各セグメントの売上高を同等程度にまで成長させる。





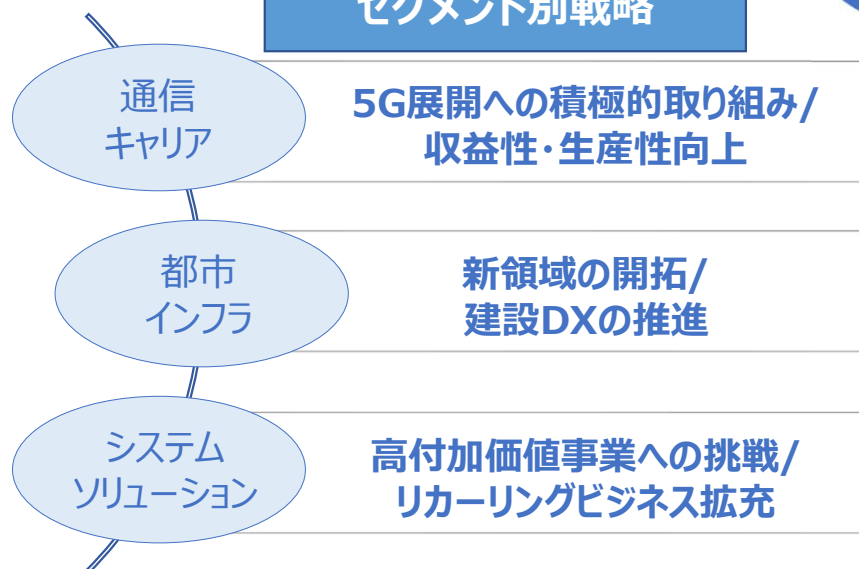
8. 中期経営計画

／ 中期経営計画の目標

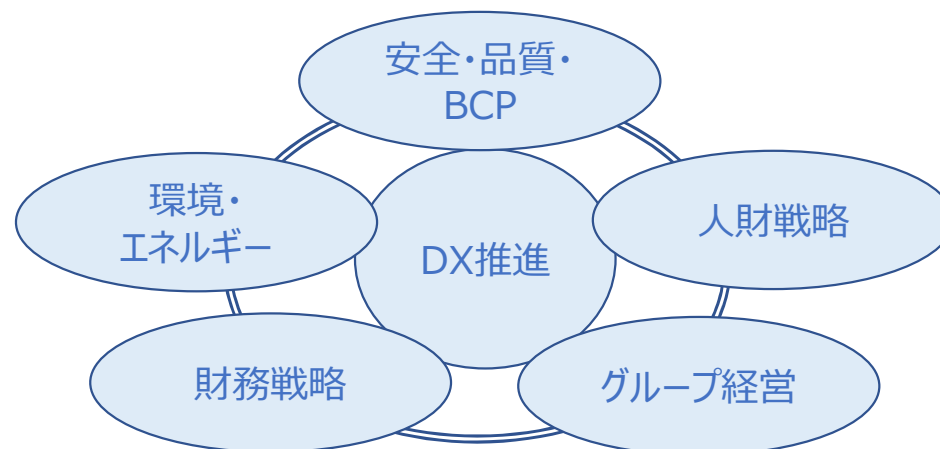
2025年度 業績目標

- ・ 売上高 6,300億円
- ・ ROE 9.0%以上
- ・ 営業利益 470億円（7.5%）
- ・ EPS 280円以上

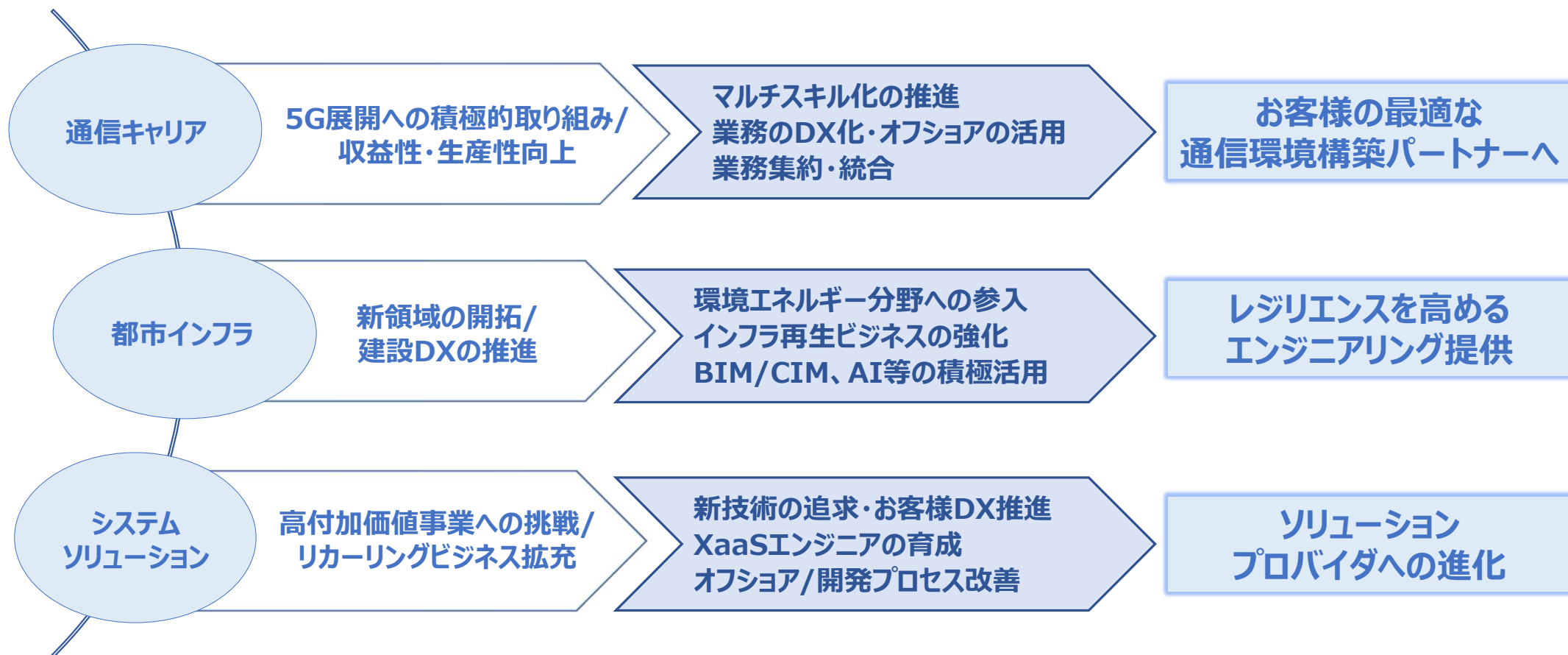
セグメント別戦略



経営基盤

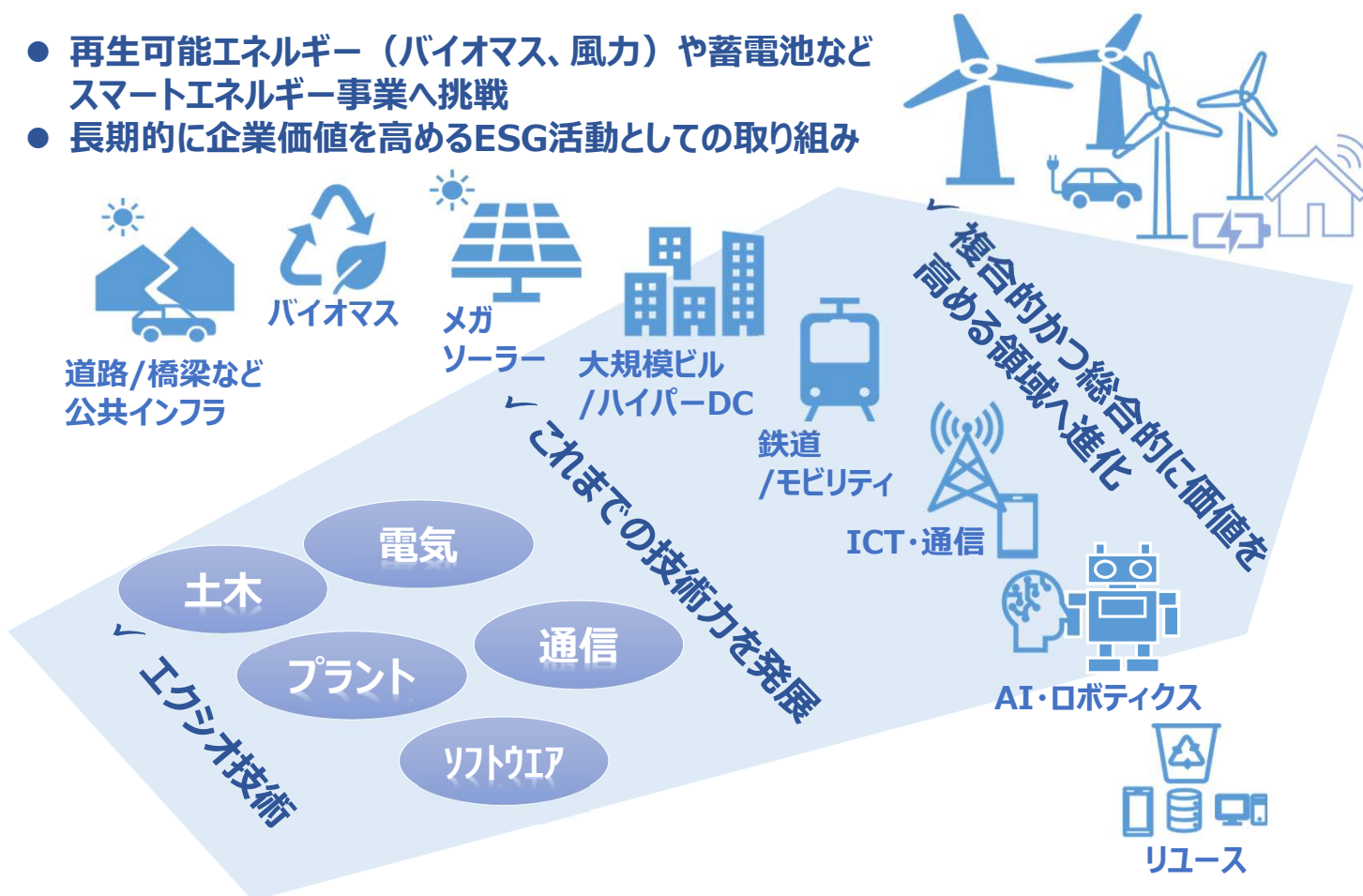


セグメント別戦略



セグメント別戦略：成長戦略イメージ

- 再生可能エネルギー（バイオマス、風力）や蓄電池などスマートエネルギー事業へ挑戦
- 長期的に企業価値を高めるESG活動としての取り組み



- “ビル丸ごと”・都市再開発/メンテナンス
・デベロッパーとの連携強化



- 5G展開への積極的取り組み
 - ・Local 5G
 - ・MEC(モバイルエッジコンピューティング)
 - ・IoT など

安全・品質・BCP

- ✓ DX、AI、IoTなど技術の進化を活用
- ✓ 少子高齢化、自然災害など変化に対応
- ✓ 自らのアイデアで安全/品質向上を実現



くるりん波



エネコンポ

人財戦略

- ✓ 事業環境変化への適応力強化
- ✓ 労働生産性の向上
- ✓ 多様な価値観を認めあう風土醸成
- ✓ ニューノーマル時代の働き方への対応

グループ経営

- ✓ 柔軟かつ機動的なグループ運営の実現
- ✓ グループの強みを活かしたシナジーの発揮

環境・エネルギー

- ✓ 環境関連事業への積極的貢献
- ✓ 再生可能エネルギー利用の促進
- ✓ 自社からのCO₂排出の抑制
- ✓ 省エネルギー活動の活性化



ZEB認定オフィス



太陽光発電

財務戦略

- ✓ 安定的な財務基盤の確保
- ✓ 成長のための積極的な投資
- ✓ 安定的かつ機動的な株主還元

DX推進

- ✓ デジタル化による経営基盤の強化
- ✓ ソリューションを通じた新たな価値の構築



＜参考資料＞ 会社紹介

会社紹介

(1) 会社概要

創 立	1954（昭和29）年5月17日
資 本 金	68億88百万円
株 式	東証一部上場（コード 1951） 売買単位 100株 発行済み株式数 116,812,419株
代 表 者	代表取締役社長 船橋 哲也
連結売上高 (2021年3月期)	5,733億円
連結従業員数 (2021年3月末)	14,374名
本 社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号
事 業 所	支店 13 営業所 20
連結子会社 (2021年3月末)	103社
決 算 日	3月31日

会社紹介

(2) 社長プロフィール



代表取締役社長 船橋 哲也

■ 出身地 東京都

■ 最終学歴 1982年 横浜国立大学 大学院 電気工学科 修士課程 修了

■ 職歴

1982年 日本電信電話公社入社

2006年 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 ユビキタスサービス部長

2010年 同社 取締役カスタマーサービス部長

2014年 同社 代表取締役副社長

2018年 当社 代表取締役副社長

2019年 当社 代表取締役社長

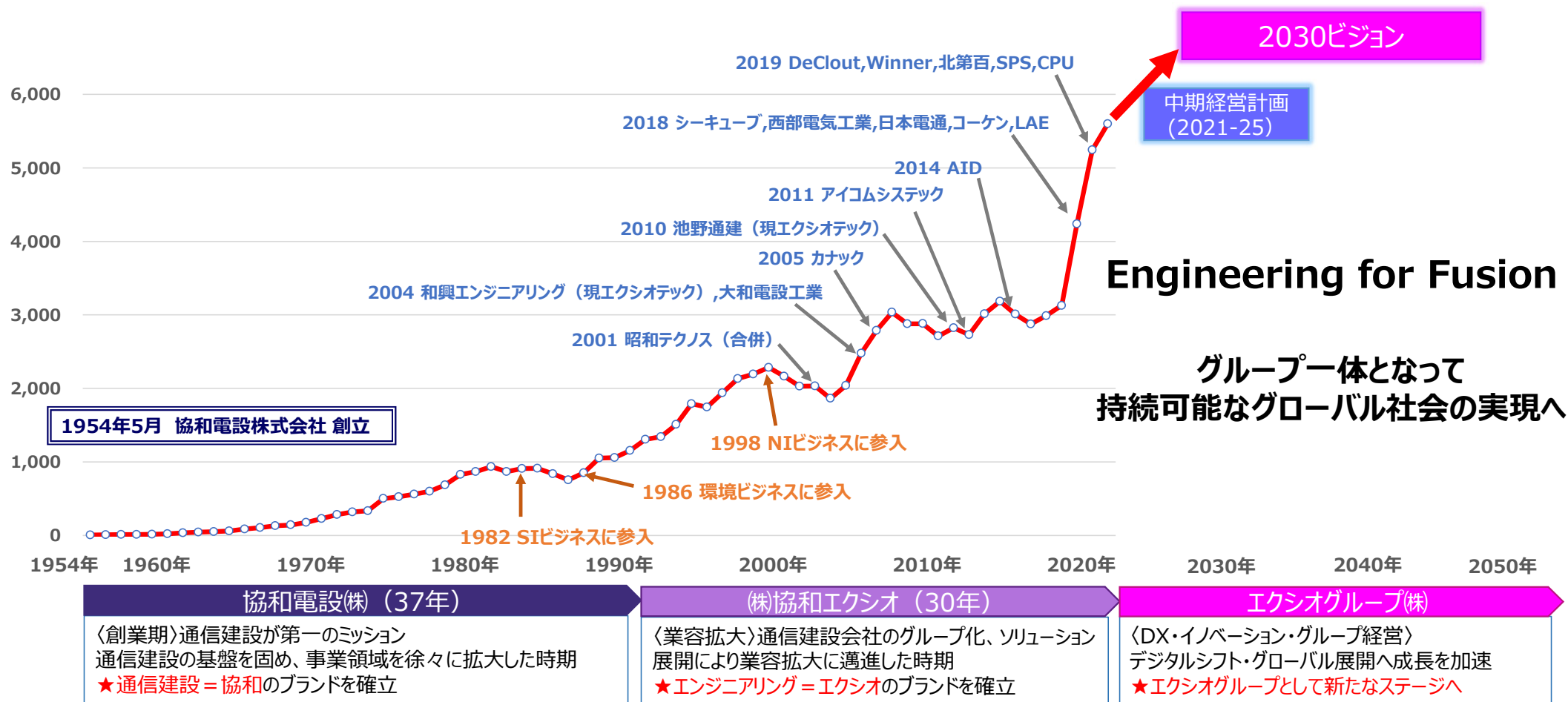
会社紹介

(3) 沿革

■ 連結売上高の推移

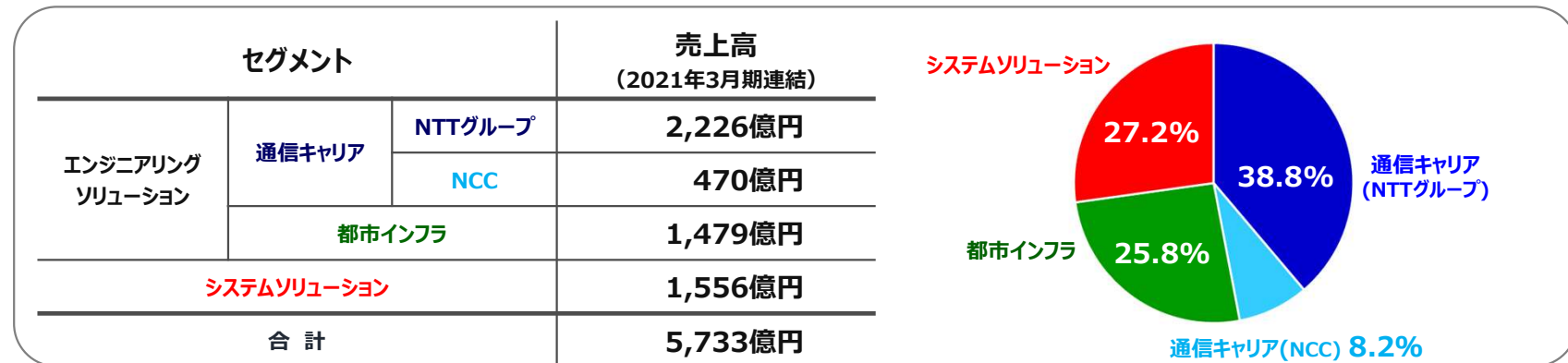
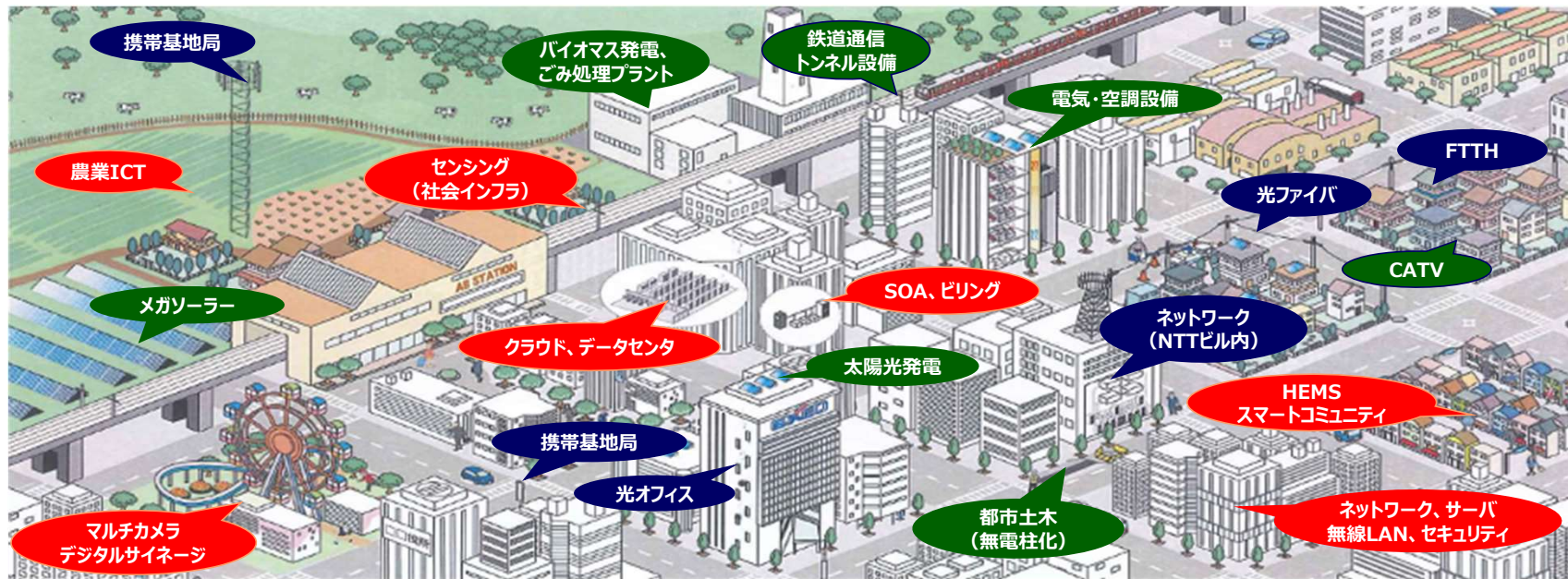
注) 1991年度以前は単独売上高

(単位：億円)



会社紹介

(4) 事業概要



会社紹介

(4) 事業概要 – 通信キャリア

◆ 創立以来、半世紀以上にわたって培ってきた当社のコア事業

- ・NTTグループ … NTTグループ各社の各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・NCC … KDDI、ソフトバンク、楽天向けの各種通信インフラ設備の構築・保守



【アクセス】



光ファイバケーブル敷設工事、
FTTH工事、通信土木工事

【ネットワーク】

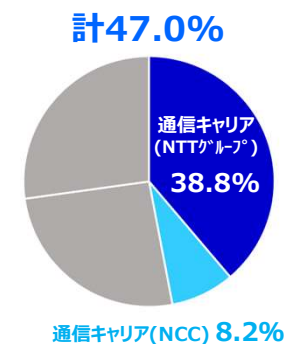


NTTビル内の交換機・
ルーター・サーバ工事、
電力工事

【モバイル】



屋外・屋内の無線
基地局工事



会社紹介

(4) 事業概要 – 都市インフラ

◆ 通信キャリアで培った通信・電気・土木技術を活かし、暮らしやすい社会の実現に貢献

- ・自治体、官公庁、CATV会社、鉄道会社、民間企業向けの各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・太陽光発電、バイオマスボイラ等の再生可能エネルギー関連工事
- ・オフィスビル、データセンター、マンション等の電気・空調工事
- ・無電柱化を中心とした都市土木工事
- ・廃棄物処理プラント等の建設工事・運転維持管理

【道路通信工事】



【再生可能エネルギー】



【電気・空調工事】



【都市土木工事】

(施工前)

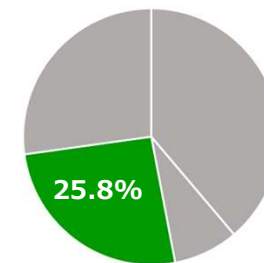
無電柱化

(施工後)



【廃棄物処理プラント】

ごみ処理プラント



会社紹介

(4) 事業概要－システムソリューション

◆ NI、SI分野でICTを活用したトータルソリューションを提供

- | | | |
|----------------------|---|--|
| ・ネットワークインテグレーション（NI） | … | サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド、G空間、EMS、センシング等のネットワークソリューション・サービスの提供 |
| ・システムインテグレーション（SI） | … | 公共、通信、製造、金融分野の大規模受託開発の提供
ビジネスプロセス変革や業務支援ソリューションの提供 |
| ・グローバル | … | 海外の各種通信インフラ設備の構築・保守、ネットワークソリューションサービスの提供 |

【ネットワークインテグレーション】



カスタマサービスセンタ

【システムインテグレーション】

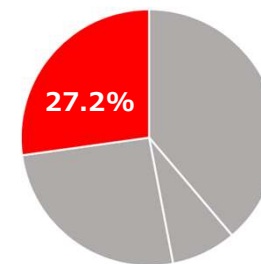


企業向けシステム構築事例の講演

【グローバル】



フィリピンのアクセス工事



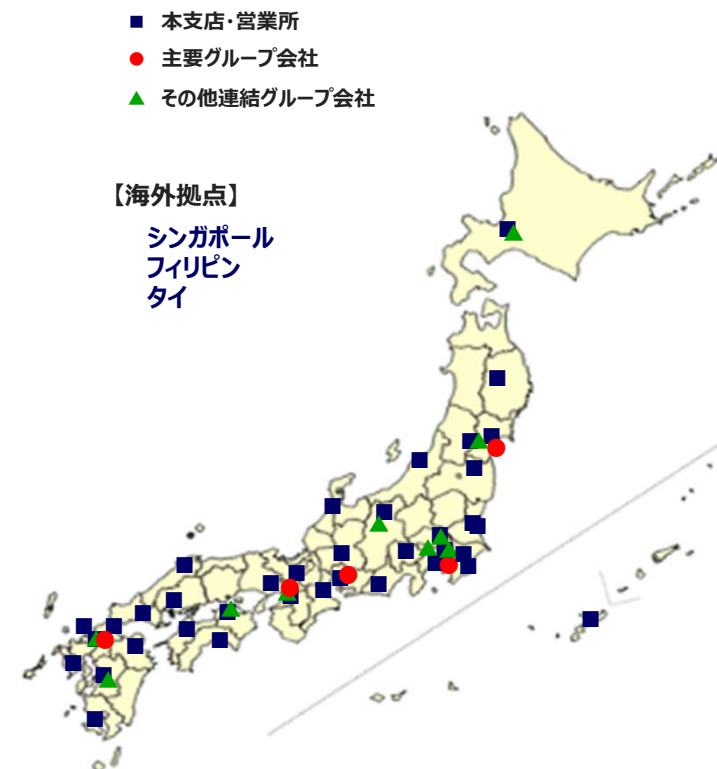
会社紹介

(5) グループ体制と拠点

■ グループ体制（2021.3.31現在）

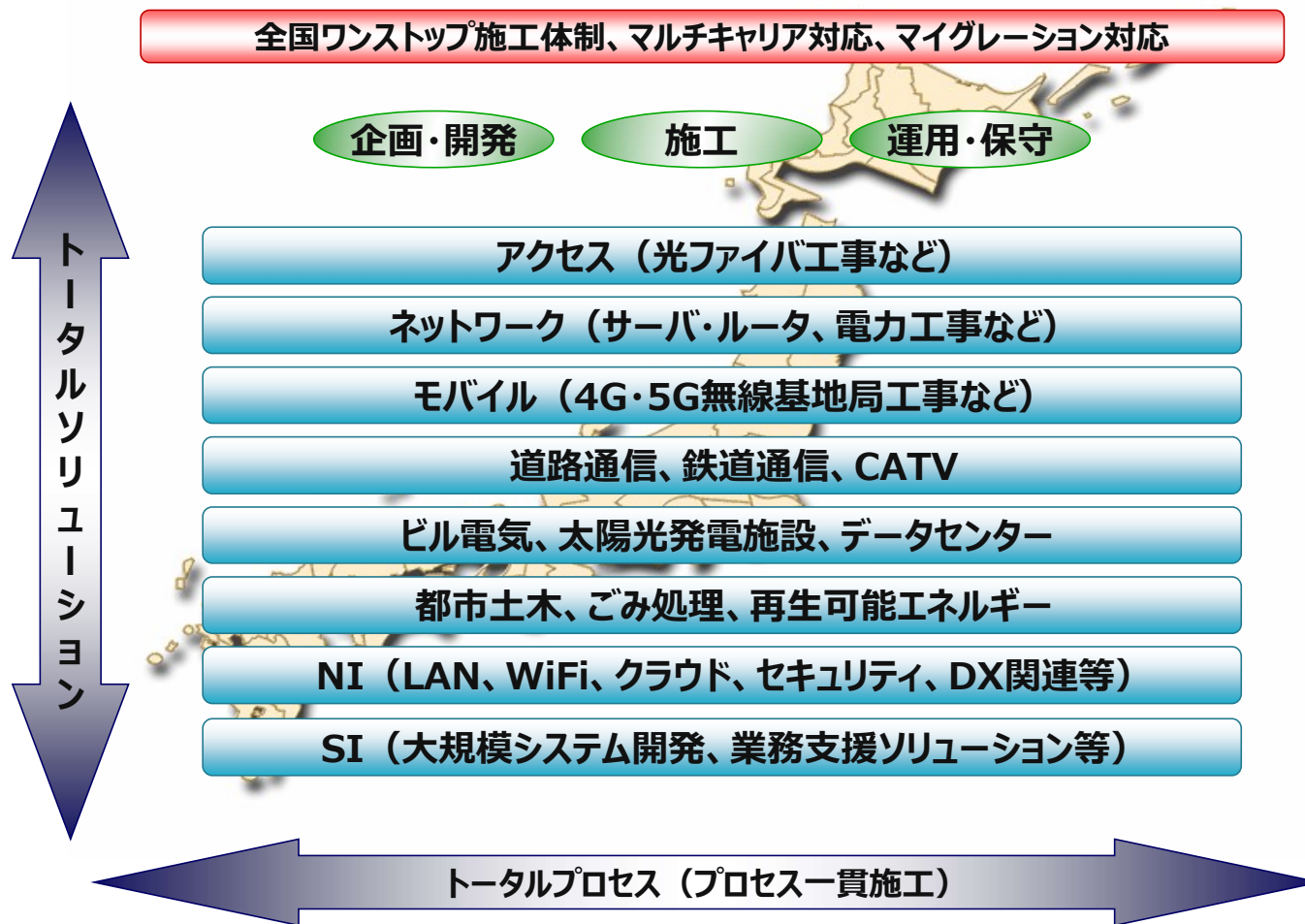
主要子会社（5社）	
シーキューブ	西部電気工業
日本電通	
エクシオテック	大和電設工業
その他の連結子会社（98社） 以下は主な会社	
通信 キャリア系	新栄通信、サンクレックス、エコス北栄、三協テクノ、 カナック、ケイ・テクノス、シグマックス、 エクシオモバイル、東邦通信、ユウアイ通建、 協栄電設工業、電盛社、北第百通信電気
都市 インフラ系	エクシオインフラ、インフラテクノ、コーケン
システム ソリューション系	アイコムシステック、アクレスコ、AID、WHERE、 サン・プランニング・システムズ、シーピーユー
グローバル	EXEO GLOBAL、DeClout、Leng Aik Engineering、 Winner Engineering、MG EXEO NETWORK

■ 拠点



会社紹介

(6) 当社グループの強み



会社紹介

(7) 外部からのご評価

■ JPX日経400 採用銘柄

JPXグループと日本経済新聞社が、資本の効率的活用や株主を意識した経営など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たす「投資者にとって投資魅力の高い会社」400社を選定（3年平均ROE等に基づき毎年8月入替実施）



■ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 採用銘柄

MSCIが日本の時価総額上位700銘柄から、ESG評価に優れた企業を選別して構築（現在235銘柄で構成、毎年6月入替実施）

2021 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

■ 子育てサポート企業として「くるみんマーク」取得

2015年に次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業として厚生労働省から認定



■ 女性活躍推進法に基づく「えるぼし(最上位)」企業の認定取得

2016年に女性活躍推進に関する状況等が優良な企業として厚生労働省から認定



■ 「準なでしこ銘柄」に選定

経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍推進に優れた上場企業を選定（2021年3月）

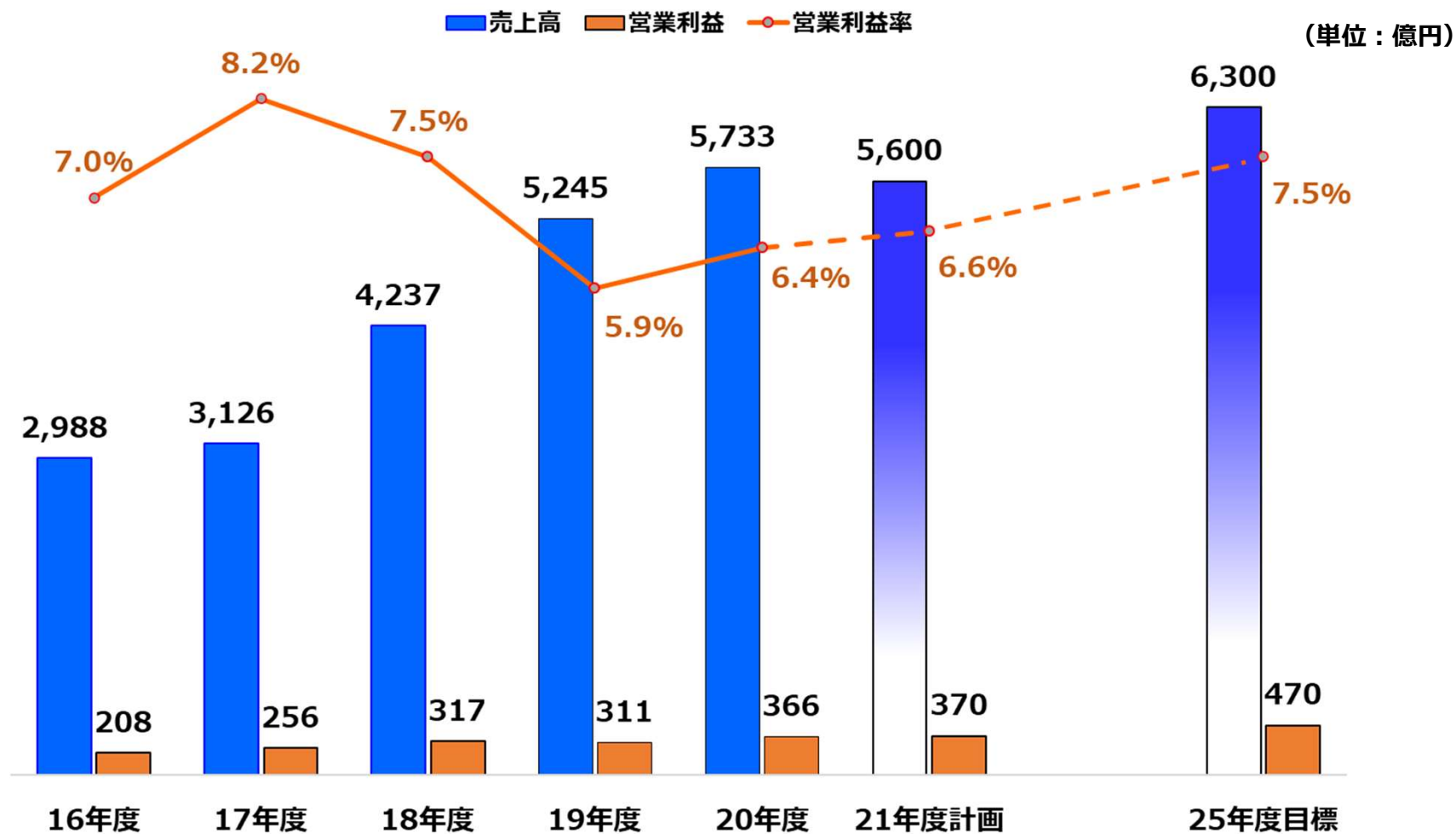


■ 日経スマートワーク経営調査 星3.5 に認定（2021年11月）

働き方改革を通じて生産性向上に取り組む先進企業を選定する日経の調査で星3.5に認定

会社紹介

(8) 近年の業績推移



■ 注記事項

本資料に掲載している将来の見通しや業績予想等につきましては、当社が発表日現在において認識および入手している情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。

弊社HPに、社名変更に関するスペシャルサイトをご用意しました。是非一度ご覧ください。

<https://www.exeo.co.jp/en/special/index.html>（英）

<https://www.exeo.co.jp/special/index.html>（日）

【お問合せ先】

エクシオグループ株式会社

経営企画部 I R担当

酒井、徳田、深堀

TEL 03-5778-1073

MAIL exeo.ir@en2.exeo.co.jp

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

